



## 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年8月6日

上場会社名 株式会社 紀陽ホールディングス

上場取引所 東証・大証第一部

コード番号 8415

(URL <http://www.kyfg.com/>)

代表者 役職・氏名 取締役社長 片山 博臣

問合せ先責任者 役職・氏名 グループ企画部長 米坂 享

TEL(073)426-7133

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	21,547	(10.4)	3,698	(6.9)	3,575	(0.2)
19年3月期第1四半期	19,517	(-)	3,972	(-)	3,581	(-)
19年3月期	80,683		8,206		8,180	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	4	87	4	02
19年3月期第1四半期	5	97	5	30
19年3月期	12	46	10	78

(注) 当社は平成18年2月1日に設立しておりますので、19年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率(注)	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	3,390,024	153,373	4.5	158 71
19年3月期第1四半期	3,279,245	104,885	3.2	128 96
19年3月期	3,326,278	154,644	4.6	159 53

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)  
平成19年5月18日に公表しました連結業績予想からの変更はございません。

平成20年3月期の連結業績予想(平成19年5月18日公表)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	41,500	(5.8)	5,200	(14.1)	4,700	(0.7)	6	48
通期	84,200	(4.4)	10,100	(23.1)	8,200	(0.2)	10	36

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報、及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日)の連結経営成績は、経常収益215億円、経常利益36億円、四半期純利益35億円となり、平成19年5月18日に公表いたしました中間期の業績予想に対して、50%以上の進捗となっております。

当社グループ収益の大部分を占める紀陽銀行におきましては、引き続き積極的な「攻めの経営」を志向し、これを着実に展開しております。

この結果、銀行業務における収益の柱である資金運用収益や役務取引等収益などは増収となり、また経営統合のシナジー効果により営業経費は減少いたしました。さらに、不良債権処理にかかる与信費用につきましては、当初の見込み範囲内で収まりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における連結財政状態については、総資産が3兆3,900億円、純資産が1,533億円となりました。

貸出金残高につきましては、前連結会計年度末比326億円増加し、2兆1,360億円となりました。前年10月の子銀行間での合併以降、営業体制を強化するなどの施策が奏功し、事業性貸出金や住宅ローンの残高が引き続き順調に増加しております。

預金・譲渡性預金残高につきましては、前連結会計年度末比630億円増加し、3兆1,385億円となりました。個人取引特化型店舗やインターネット支店の新設、預金商品拡充などの施策を積極的に展開しており、大部分が個人預金の増加によるものです。

また、有価証券残高につきましては、前連結会計年度末比1,027億円増加し、9,120億円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期の連結業績予想につきましては、平成19年5月18日に公表しました連結業績予想からの変更はございません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はございません。

#### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

当社は、中間(連結)財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続を採用しております。

なお、四半期財務・業績の概況に関する計数は、監査法人による監査を受けておりません。

##### [簡便な手続の内容]

##### 貸倒引当金の算定基準

貸倒引当金については、平成19年6月末時点の債務者区分に基づく対象債権残高に対し、平成19年3月期に適用した貸倒実績率等をベースとして算定するなど、一部簡便な方法により算定しております。

#### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

役員退職慰労金は、従来支出時の費用として処理しておりましたが、「租税特別措置法上の準備金及び特別法上の引当金又は準備金並びに役員退職慰労引当金等に関する監査上の取扱い」(平成19年4月13日改正日本公認会計士協会監査・保証実務委員会報告第42号)を適用し、当第1四半期から、制度廃止時までに確定した支給額を役員退職慰労引当金として計上しております。これにより、特別損失を84百万円計上しております。

## 比較四半期 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期末) (A)	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期末) (B)	比較 (A)-(B)	(参考) 平成19年3月期末 (C)	比較 (A)-(C)
(資産の部)					
現金預け金	45,880	55,883	10,003	60,225	14,345
コールローン及び買入手形	42,280	175,130	132,850	95,525	53,245
債券貸借取引支払保証金	147,944	-	147,944	144,066	3,878
買入金銭債権	7,339	9,753	2,414	7,654	315
商品有価証券	5,174	1,452	3,722	12,913	7,739
金銭の信託	-	3,500	3,500	-	-
有価証券	912,053	919,679	7,626	809,334	102,719
貸出金	2,136,093	2,003,236	132,857	2,103,444	32,649
外国為替	2,439	2,137	302	2,225	214
その他資産	23,582	24,514	932	21,809	1,773
有形固定資産	40,134	42,296	2,162	40,069	65
無形固定資産	17,536	18,955	1,419	17,552	16
繰延税金資産	29,932	32,531	2,599	29,058	874
支払承諾見返	26,732	43,028	16,296	28,297	1,565
貸倒引当金	47,098	52,855	5,757	45,900	1,198
資産の部合計	3,390,024	3,279,245	110,779	3,326,278	63,746
(負債の部)					
預金	3,054,230	2,973,148	81,082	2,988,692	65,538
譲渡性預金	84,339	19,550	64,789	86,828	2,489
コールマネー及び売渡手形	-	1,174	1,174	-	-
債券貸借取引受入担保金	8,469	66,210	57,741	4,328	4,141
借入金	22,395	27,428	5,033	22,495	100
外国為替	57	22	35	19	38
社債	16,000	13,000	3,000	16,000	-
その他負債	21,691	25,829	4,138	21,852	161
退職給付引当金	2,648	4,870	2,222	3,089	441
役員退職慰労引当金	84	-	84	-	84
繰延税金負債	-	96	96	29	29
支払承諾	26,732	43,028	16,296	28,297	1,565
負債の部合計	3,236,650	3,174,360	62,290	3,171,633	65,017
(純資産の部)					
資本金	58,350	42,600	15,750	58,350	-
資本剰余金	77,127	61,384	15,743	77,128	1
利益剰余金	25,879	19,799	6,080	24,398	1,481
自己株式	12,571	12,540	31	12,566	5
(株主資本合計)	148,786	111,243	37,543	147,309	1,477
その他有価証券評価差額金	2,791	7,654	10,445	5,545	2,754
繰延ヘッジ損益	0	77	77	3	3
(評価・換算差額等合計)	2,790	7,732	10,522	5,542	2,752
少数株主持分	1,797	1,374	423	1,792	5
純資産の部合計	153,373	104,885	48,488	154,644	1,271
負債、及び純資産の部合計	3,390,024	3,279,245	110,779	3,326,278	63,746

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 比較四半期 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期) (A)	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期) (B)	比較 (A) - (B)	(参考) 平成19年3月期 (C)
経常収益	21,547	19,517	2,030	80,683
資金運用収益	15,525	14,383	1,142	58,580
(うち貸出金利息)	( 11,831)	( 10,964)	( 867)	( 44,718)
(うち有価証券利息配当金)	( 3,227)	( 3,305)	( 78)	( 12,830)
役務取引等収益	3,396	3,237	159	12,621
その他業務収益	1,773	1,215	558	7,306
その他経常収益	851	681	170	2,175
経常費用	17,849	15,545	2,304	72,477
資金調達費用	2,618	1,322	1,296	7,283
(うち預金利息)	( 1,945)	( 419)	( 1,526)	( 3,402)
役務取引等費用	984	999	15	4,054
その他業務費用	1,219	1,192	27	7,984
営業経費	9,869	10,225	356	39,794
その他経常費用	3,158	1,804	1,354	13,360
経常利益	3,698	3,972	274	8,206
特別利益	963	1,307	344	5,082
特別損失	91	117	26	1,570
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,570	5,162	592	11,718
法人税、住民税及び事業税	150	769	619	975
法人税等調整額	842	785	57	2,556
少数株主利益	0	26	26	6
四半期(当期)純利益	3,575	3,581	6	8,180

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## &lt; ご参考資料 &gt;

## 平成20年3月期第1四半期の財務・業績について

## 1. 平成20年3月期第1四半期の業績概要

## 紀陽ホールディングス連結

(単位:百万円)

	平成20年3月期 第1四半期 (a)	平成19年3月期 第1四半期 (b)	比較 (a - b)	平成20年3月期 中間期予想値
<b>連結粗利益</b>	15,874	15,320	554	
資金利益	12,907	13,060	153	
役務取引等利益	2,411	2,237	174	
その他業務利益	554	22	532	
営業経費( )	9,869	10,225	356	
一般貸倒引当金繰入額( )	335	479	144	
不良債権処理額( )	2,786	1,870	916	
株式関係損益	415	244	171	
<b>経常利益</b>	3,698	3,972	274	5,200
特別損益	871	1,190	319	
税金等調整前四半期純利益	4,570	5,162	592	
法人税、住民税及び事業税( )	150	769	619	
法人税等調整額( )	842	785	57	
<b>四半期(中間)純利益</b>	3,575	3,581	6	4,700

与信費用合計( )	1,488	83	1,405
-----------	-------	----	-------

- (注) 1. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用)  
+ (その他業務収益 - その他業務費用)
2. 与信費用合計 = 一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額 - 償却債権取立益
3. ( ) は損失項目です。
4. 上記予想値は、平成19年5月18日に公表した予想値です。

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日)の連結経営成績は、経常利益36億円、四半期純利益35億円となり、中間期の業績予想に対して50%以上の進捗となっております。

当社グループ収益の大部分を占める紀陽銀行におきましては、引き続き積極的な「攻めの経営」を志向し、これを着実に展開しております。

この結果、連結粗利益は増収となり、また経営統合のシナジー効果により営業経費は減少いたしました。さらに、与信費用につきましては、想定範囲内で収まりました。

## &lt; 参考資料 &gt;

## 紀陽銀行単体

(単位:百万円)

	平成20年3月期 第1四半期 (a)	平成19年3月期 第1四半期 (b)	比較 (a - b)	平成20年3月期 中間期予想値
<b>業 務 粗 利 益</b>	15,166	14,505	661	
資 金 利 益	12,949	12,913	36	
役 務 取 引 等 利 益	1,841	1,681	160	
そ の 他 業 務 利 益	375	89	464	
経費(除く臨時処理分)( )	9,275	9,584	309	
一般貸倒引当金繰入額( )	329	24	305	
<b>業 務 純 益</b>	6,221	4,943	1,278	
う ち コ ア 業 務 純 益	5,481	4,699	782	
臨 時 損 益	2,019	1,006	1,013	
不 良 債 権 処 理 額 ( )	2,451	1,447	1,004	
株 式 関 係 損 益	323	244	79	
そ の 他	754	686	68	
<b>経 常 利 益</b>	4,201	3,936	265	5,500
特 別 損 益	765	1,166	401	
税 引 前 四 半 期 純 利 益	4,967	5,104	137	
法人税、住民税及び事業税( )	12	526	514	
法人税等調整額( )	877	948	71	
<b>四 半 期 純 利 益</b>	4,077	3,628	449	4,700
与 信 費 用 合 計 ( )	1,265	9	1,274	

(注) 1. 平成19年3月期第1四半期は、旧和歌山銀行単体計数を合算して表示しております。

また、旧和歌山銀行の貸倒引当金取崩益(特別利益)は、上表では、一般貸倒引当金繰入額、不良債権処理額の欄に記載しております。

2. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益控除後の業務純益です。

3. 与信費用合計 = 一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理額 - 償却債権取立益

4. ( ) は損失項目です。

当第1四半期(平成19年4月1日～平成19年6月30日)における紀陽銀行の経営成績は、コア業務純益が54億円(前年同期比7億円増加)、業務純益が62億円(同12億円増加)、経常利益が42億円(同2億円増加)、四半期純利益が40億円(同4億円増加)と順調に推移しております。

なお、平成19年5月18日に公表いたしました中間期の予想は、経常利益55億円、中間純利益47億円であり、いずれも50%以上の進捗となっております。

## &lt; ご参考資料 &gt;

平成18年6月末の紀陽銀行の計数(3を除く。)は、旧和歌山銀行単体計数との合算で表示しております。

## 2. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」【単体】

(紀陽銀行単体)

	平成19年6月末	平成19年3月末	平成18年6月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	322	352	395
危険債権	771	787	881
要管理債権	184	194	235
小計	1,278	1,335	1,511
(合計債権残高に占める比率)	( 5.83%)	( 6.19%)	( 7.34%)
正常債権	20,623	20,240	19,084
合計	21,901	21,576	20,595

(単位:億円)

## 3. 自己資本比率【連結】【単体】

(紀陽ホールディングス連結、第二基準)

	平成19年6月末(実績)	平成19年3月末(実績)
自己資本比率	11.47 %	11.58 %
Tier 1比率	8.48 %	8.51 %

(紀陽銀行単体、国内基準)

	平成19年6月末(実績)	平成19年3月末(実績)
自己資本比率	10.55 %	10.62 %
Tier 1比率	8.31 %	8.33 %

## 4. 時価のある有価証券の評価差額【単体】

(紀陽銀行単体)

その他有価証券の評価差額

(単位:億円)

	平成19年6月末				平成19年3月末				平成18年6月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	8,022	20	205	185	7,007	65	194	128	8,059	80	126	206
株式	749	159	193	34	711	125	166	40	654	100	119	19
債券	5,893	119	1	121	5,114	61	5	66	5,605	131	1	132
その他	1,379	19	10	30	1,181	1	22	20	1,798	49	5	55

(注) 有価証券のほか、買入金銭債権中の信託受益権も含めております。

満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位:億円)

帳簿	平成19年6月末			平成19年3月末			平成18年6月末					
	価額	含み損益		価額	含み損益		価額	含み損益				
		うち益	うち損		うち益	うち損		うち益	うち損			
	939	7	0	8	931	1	3	4	968	25	0	26

子会社・関連会社株式で時価のあるもの  
該当ありません。



## &lt; ご参考資料 &gt;

## 5. デリバティブ取引【単体】

(紀陽銀行単体)

(1) 金利関連取引

(単位:億円)

区分	種類	平成19年6月末			平成19年3月末			平成18年6月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	金利スワップ	-	-	-	-	-	-	0	0	0

(2) 通貨関連取引

(単位:億円)

区分	種類	平成19年6月末			平成19年3月末			平成18年6月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	通貨スワップ	1,179	1	1	733	1	1	450	0	0
	為替予約	180	3	3	173	0	0	542	5	5

(注)ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(3) 株式関連取引 該当ありません。

(4) 債券関連取引

(単位:億円)

区分	種類	平成19年6月末			平成19年3月末			平成18年6月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	債券先物	100	0	0	-	-	-	200	0	0

(注)ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(5) 商品関連取引 該当ありません。

(6) クレジットデリバティブ取引 該当ありません。

## 6. 預金、貸出金の残高【単体】

(紀陽銀行単体)

(単位:億円)

	平成19年6月末	平成19年3月末	平成18年6月末
預金・譲渡性預金(未残)	31,565	30,935	30,081
うち預金	30,722	29,956	29,885
うち個人預金	23,733	23,107	22,881
貸出金(未残)	21,442	21,114	20,116
うち消費者ローン	6,912	6,813	6,679
うち住宅ローン	5,804	5,689	5,615

## 7. 投資信託・公共債の預かり資産残高【単体】

(紀陽銀行単体)

(単位:億円)

	平成19年6月末	平成19年3月末	平成18年6月末
投資信託残高	2,000	1,778	1,358
公共債残高	767	766	773
投資信託・公共債合計残高	2,768	2,544	2,132

以上